

歴史 | 探訪

～文化財を巡る～⑫

豊岡の文化財を紹介します。皆さんの身近にある文化財を見ていきましょう。

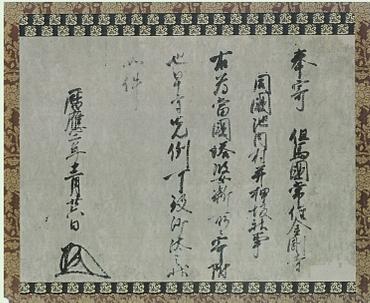
《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

「美術工芸品(歴史資料)」

美術工芸品のうち、歴史資料として指定されているものは県指定1件と市指定3件です。歴史上重要なことがらや人物に関して今に残されているもののうち、特に学術的価値の高いものが指定されています。

こんごうじ あしががたかうじ 金剛寺文書「足利尊氏寄進状」 (県指定)金剛寺

大きさは33×45cm。足利尊氏が、金剛寺に但馬国利生塔を造った時の寄進状で、暦応2年(1339年)の銘があります。尊氏は、南北朝の戦いで亡くなった人たちの供養のため、一国に一基の塔を造りました。この書状は、利生塔を



設置するために池内村と相坂社を寄付すると書かれており、文面の最後には、尊氏の花押があります。

おおいしけ やまなそうぜん 大石家文書のうち「山名宗全書状」 (市指定)

大きさは27×37cm。山名宗全が、小田井神社に出した歳暮の礼状で、祈祷と絹をもらった礼が記されています。年代は書かれていませんが、宗全が享徳3年(1454年)から4年間、九日市守護所にいた時のものと考えられます。12月27日に



出されたもので、当地と山名氏を結びつける貴重な資料です。

円山川改修測量図 (市指定)

大きさは96×423cm。明治22年ごろに作成された測量図で、但馬に現存する地図の中でも一番古いものと考えられます。図面には、日高町辺りから北側の円山川下流域が描かれており、当時の大保恵堤の



状況や、いわゆる「大磯の大曲がり」の流路改修計画も確認できます。豊岡市立図書館建設の際、城崎郡役所だった旧郷土資料館の書庫から発見されました。

だいしょうのしょう 大将野庄銘逆修碑 (市指定)日高町野々庄

高さ84cm以上、幅80cm、奥行き15cmの石造物。生前に死後の安楽を願って建立された石碑で、享禄4年(1531年)の銘が刻まれています。但馬国太田文に記述がある「大将野庄上野村」を



確認できる唯一の資料で、戦国時代に入って荘園が崩壊したため、農民が集まって村を作り、村が農民共同体となっていたことを示すものです。

語句の解説

- ・利生…命あるものすべてに仏・菩薩が利益を与えること。
- ・花押…署名の下に書く様式化したしるし。今で言う印鑑のこと。
- ・大保恵堤…集落の近くに築かれた人口堤防。洪水を防ぐとともに、水を留めておく機能もあった。
- ・太田文…中世に作成された一国単位の土地台帳。

現在公開していない歴史資料もあります。

●発行／豊岡市 ●編集／政策調整部秘書広報課
☎0796-23-1111
FAX 24-12575
市長室 FAX 24-1004

〒668-1866
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL <http://www.city.toyooka.lg.jp>

(総合支所)
・竹野 ☎47-1111
・出石 ☎52-3111
・日高 ☎544232
・但東 ☎541001
・城崎 ☎1001



「広報とよおか」は、資源保護のため環境に優しいソイ(大豆)インキで印刷しています。